

ESPERANZA

三田西陵高校 24 回生 2017.2.16 発行 No.13

学年末考査に向けた計画の立て方

学年プラス 西村俊紀

3 学期が始まって早 1 か月が過ぎました。「1 月は行く。2 月は逃げる。3 月は去る」とはよくいったもので、今年度も残すところあと 2 か月ですね。どんな 1 年間だったでしょうか。

そして、24 回生 1 学年の最後のテストである学年末考査が迫ってきています。そのための準備は着々と進んでいますか？普段の授業を大切にすることは言わずもがなですが、やはり勉強計画をしっかりと立てることがとても重要です。計画を立てる前に、考査まであと何日なのか、学校の時間や睡眠時間を省くと自宅学習に費やすことのできる時間はどれくらい残っているのかをできるだけ具体的に見積もりましょう。

次に、各科目を自分がどれくらい理解できているのか、冷静に分析しましょう。決して背伸びをしてはいけません。誰しも自分の弱いところには目を背けたくなるものですが、弱いところ、つまりは苦手としている科目に向き合いましょう。学習可能な時間を見積もり、自己分析も完了した後、具体的に勉強計画を立てましょう。どの科目にどれくらいの時間をかけるのが自分にとって最善なのか、深く考えましょう。以上のように、ゴールから逆算して計画を立てていきましょう。ゴールを見据え、現状把握をすることで、具体的に何をしたら良いのかを考えることができるのです。

計画を立てた後は、自分が立てた勉強計画にとにかく取り組んでみましょう。実際に取り組んでみると、無理な計画になっていることが判明することもあります。そこで、計画の練り直しをします。無駄な計画になっているのはなぜか、どのように改善すればうまくいくのか。その際大切なのは、ゴールを変えてはいけないということです。ゴールへの道のりを変えるだけです。行き着く先を落としてははいけません。計画を少しずつ変えていきながら、最終的にゴールにたどり着けるように考え続けることが大切です。

計画し、実行する。状況に応じて計画を微調整していく。これをしっかりとできれば、学年末考査の結果は自ずとついてきます。また、この方法は学校でのことだけでなくあらゆる事に通用します。そしてあなたたちが社会に出た時に必ず必要となるものですので、ぜひ身につけてください。

4 月からは各々の進路に進むべく文Ⅰ・文Ⅱ・理・子どもみらい類型に分かれていきます。2 年生になった時にそれぞれが

良いスタートを切れるように、また、1 年生を良い形で締めくくられるように、学年末考査に全力で挑みましょう。その際、上記の内容をぜひ参考にしてくれたらと思います。



計画力は育ちましたか？

百人一首大会

2 週にわたる百人一首大会が成功のうちに終わりました。古式ゆかしく、また楽しく行われたことも嬉しいことですが、全員が校内のかたるたを大切に扱っていたことも高く評価すべきでしょう。来年以降も、後輩たちによって、この行事が受け継がれてゆきます。

電子ゲームのなかった近年まで、正月の遊びの定番と言えば『小倉百人一首』でした。親戚が集う時の特別に楽しい遊びだったのです。歌の意味を解って札を取る子供はほとんどいないでしょう。しかし、耳から入って来る古き美しい言葉の響きに魅了され、感性を育てたものです。「門前の小僧習わぬ経を読む」という諺があります。難しい読経も、毎日毎日聴いているうちに暗唱できるという意味です。学習とは、もともと難しいものではなく、永く続けるうちに少しずつの努力や習慣で、身に付くものというポジティブな思考に至って欲しいものです。

皆さんの中にも 1 人で 50 枚以上を獲得した猛者もいます(最高は 72 枚)。百人一首は漫画や映画、さらには推理小説などの題材にも取られるくらい日本の暮らしに根付いたものです。若い皆さんが未来に向けて継承してくれることを頼もしく思っています。

結 果

優勝：6 組（獲得枚数 652 枚・1 人当たり 17.6 枚）

2 位：4 組（獲得枚数 651 枚・1 人当たり 16.6 枚）



「千早振る」に沸いた

校長杯争奪校内長距離走大会

2 月 3 日（金）予定通り長距離走大会が行われました。2 学期後半から体育科の指導をうけ、寒風をものとしめない凛々しい西陵生たちが街中を駆け抜けました。

3 学期に入ると各人のタイムがクラスに掲示され、「いよいよ大会だ」という雰囲気になって、皆さんが気力・体力を充実させてゆく姿が随所で見られました。

当日は男女とも 10 位以内に入る素晴らしい成果を残した生徒も 24 回生の中にいます。また、自分の限界を一步超えて満足できるタイムで完走した生徒も称賛に値します。

マラソンは、しばしば人生にたとえられます。まず、距離の長さに「果たして自分は走り切れるのか？」と困惑します。自信のある者は速く走ることを目標に刻苦する意欲を掻き立てるでしょう。あるいは遙か先を走る友達の姿に自信が揺らぐ者もいるでしょう。しかし、力の差は当然あっても、共通する目標は「完走する」ことです。ゴールに辿り着くまで、時には一人で、時には誰かに支えられ、時には給水したり歩いたり、それでもゴールした時の喜びは大きいものです。

人の生涯は天寿を全うするまで苦難が伴います。他人が羨むようなスタンスで走り続けることは難しいでしょう。むしろ恰好悪い姿を見せなければならないほうが多い。しかし立ち止まる前に「あの電柱までは走ろう！」という気持ちになれば、素晴らしい結果が皆さんを待っているはず。長距離走を通して、走りきる力や諦めない気力を身に付けたのです。それが各人の誇りになったことを願わずにはられません。



前だけを見つめて走る

学年末考査日程

	2/22(水)	23(木)	24(金)	27(月)	3/1(水)
1	数学 A	国語総合 古典	国語総合 現代文	数学 I	英語 I G
2	化学基礎	英語 I R	英語会話	現代社会	保健
3					社会と 情報